

平成30年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	多摩区第3グループ(菅・中野島・南菅)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H29		H30		H29		H30	
	1 菅こども文化センター ①年間延べ利用者数	26,560人	24,525人	②年間延べ利用団体数	102団体	152団体		
2 菅小学校わくわくプラザ ①登録者数	325人	363人	②年間延べ利用者数	19,356人	21,451人			
3 東菅小学校わくわくプラザ ①登録者数	256人	295人	②年間延べ利用者数	19,939人	22,417人			
1 中野島こども文化センター ①年間延べ利用者数	37,840人	36,967人	②年間延べ利用団体数	434団体	486団体			
2 中野島小学校わくわくプラザ ①登録者数	377人	358人	②年間延べ利用者数	22,538人	24,457人			
3 下布田小学校わくわくプラザ ①登録者数	182人	176人	②年間延べ利用者数	11,793人	14,876人			
1 南菅こども文化センター ①年間延べ利用者数	30,034人	26,461人	②年間延べ利用団体数	340団体	325団体			
2 南菅小学校わくわくプラザ ①登録者数	147人	153人	②年間延べ利用者数	10,118人	9,873人			
3 西菅小学校わくわくプラザ ①登録者数	144人	137人	②年間延べ利用者数	9,716人	10,585人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 164,237,378 2 支出 人件費 138,746,952 管理費 11,119,984 事務経費 7,965,102 その他経費 9,103,743 合計 166,935,781 3 差引 -2,698,403							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・南菅こども文化センターでは、併設する南菅老人いこいの家との連携事業において、ジャガイモの栽培方法などを高齢者の方々から敷地内でジャガイモの収穫体験とカレーライスの調理実習を行い、交流を深めた結果、事業終了後、道で会った時などは、挨拶や話をするなど、地域交流の促進につながっている。 ・菅こども文化センターでは、菅保育園との共催で乳幼児親子を対象に「父親の育児参加促進講座」として「ミニ運動会及び看護師の応急手当講座」を、父親が参加しやすい土曜日に設定して実施し、同年代の子どもを持つ保護者同士が交流する機会を設けた。 ・南菅こども文化センターでは、お年寄りが多い地域にあり、熱中症を防ぐため、自治会の協力を得ながら、地域を回り、水飲み場がある場所や日陰になっている場所、休憩ができる場所を調査し行い、安全マップの更新を行った。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めたほか、苦情等への対応も適切に行われている。 ・菅こども文化センターでは、カードゲームをできるようにしてほしいという意見が多くあったため、子どもたちで利用のルールを考えて、新たに「カードの日」を設けた。 ・特別な配慮を要する児童への対応として、特別支援児童についての研修を実施して、職員の資質向上を図るなど、適切な対応が図られている。 ・学校及び行政機関との連携について、学校施設開放委員会や行政と連携し、様々な事業を行っている。中野島こども文化センターでは、新たに慶應義塾大学サッカー部と連携して、サッカー体験教室を開催したり、新たに専修大学ネットワーク部と連携して、動物をとおして命の大切さと危険性について学ぶ行事を開催するなど、地域の特性に合わせた協働の取組が行われている。 ・施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて広報を行っている。また、こども文化センターたよりを毎月発行し、中学生向けのたよりを年に2回発行しており、保育園や郵便局、いこいの家等、様々な場所にたよりを置いてもらうなど、周知活動に取り組んでいる。 ・運営協議会の実施については、運営協議会が設置され、事業計画どおりに開催されている。 ・保護者懇談会の実施について、土曜日や授業参観日等、参加しやすい日程で開催するとともに、懇談会前に親子工作を行う等保護者のニーズに応えている。また、懇談会と合わせて「わくわく写真展」を実施し、参加者の増加に繋がった。					

組織管理 体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。さらに、グループ合同研修として「リフレッシュ研修」を実施し、児童の行動などを、異なる視点(フレーム)から見直して、一見否定的な事象も肯定的に捉えることができるということを学んだことにより、児童に自己肯定感を抱かせるような声掛け等ができるようになり、職員の資質向上が図られている。 個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務 実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3	
	災害発生時に備えた対応が図られているか。				
	災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。				
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、子ども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、床の傷をパテで補修して転倒防止を図るなど、補修が必要な箇所について適宜、補修等を実施している。 利用者の安全確保については、保育園の看護師による「応急手当研修」を実施し、手当の仕方等を学び、迅速に対応できる体制を整えている。また、実際の事故やヒヤリハット事例を話し合い、共通認識を図り日々の安全確保に努めている。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、学校の避難訓練にわくわくプラザが参加するなど、学校との連絡体制が構築されている。また、昔子ども文化センターでは子どもたちが「音探検隊」となり地域の子ども110番を探して防犯マップを作成したり、中野島子ども文化センターでは、タブレットのアプリを操作し安全マップを作成する等の工夫が見られ、防犯に向けた対策が図られている。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内20グループの子ども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。
 特に、新たにいいこの家との連携事業、読み聞かせなどを通じて乳幼児と触れ合う「ここにこたまっこ2019」や専修大学との共催で命の大切さを伝える「うさぎレスキュー」等、複数の新規事業を積極的に行い、多世代交流を促進した。また、各種研修に参加し、職員の資質向上に努め、良質なサービスを提供している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、子ども文化センターの利用者数が前年度に比べて減少していることから、乳幼児の利用増加に繋がる取組などをより積極的に行うことが望ましい。